KOCHO だより ㉟

平成２９年(2017 年)７月４日

YIC 保育＆ビジネス専門学校　須内

○　サンホーム支援員研修会

サンホームというのは光市の放課後児童クラブの名称です。放課後児童クラブとは何だろうという人のために説明します。学校の放課後、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童（平成２９年度から全学年）に対して、生活と遊びの場を提供する施設です。※「サンホーム入所のしおり」から

共働きなどをしながら子どもを育てている家庭は多くあると思います。保育園に子どもを預けられず（待機児童とも言われます）仕事の継続をあきらめなければならないということも問題になっています。保護者にとっては子どもが小学校に就学してもその大変さは続きます。放課後児童クラブはそれらのことへの対応などを目的として開設されているものです。光市では１３か所ありますが、そのほとんどが定員超の状態のようです。４月２４日現在の支援員さんの数は４６名です。いろいろな苦労も多いだろうと想像します。

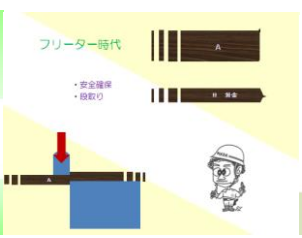
その支援人さんたちを対象に何か参考になる話をしてほしいとの依頼があり、３０日（金）に実施してみました。中学校勤務を続け、最後に小学校を少し経験しただけの私としては参考になる話ができるだろうかと、少し不安もありましたが引き受けました。

私の強みは造形教育研究会（幼稚園・保育園・小中学校・高等学校から大学までが連携して子どもたちの絵画や彫刻制作といった造形にかかわる任意の研究団体）にかかわってきたことです。このことを中心にして危険回避・特別支援教育・各種連携などの話をしてみました。経験した事例などを紹介しながらでしたが、「守秘義務」を意識すると深くは突っ込めません。私としては伝えたいことが１００％はできなかったので消化不良気味でしたが、一つ二つでもお土産を持って帰ってもらえたとしたらうれしいです。

また、せっかくの“造形担当者”なので、後半はミニ制作として「箸置き」をみんなで作りました。材料は紙バンドと和紙です。バンドに和紙を貼り付け、蝶々結びをした後透明ニスを塗って仕上げです。お一人３～４個作ることができて、このお土産も持って帰ってもらえたのでよかったです。実はこの制作をかつて小学生とも一緒に行いましたが、その時は結構苦労しました。蝶々結びがなかなか手強かったのです。さすが大人の皆さんはほぼ大丈夫でした。

私は光市の住民ではありませんが、縁があります。私の母親の実家がかつて光井にありましたので、夏休みにはよく泊まっていて警察署の近くでラジオ体操をしていたころの光景を思い出します。また、教員としては初任校が大和中学校であり、附属光中学校にもご縁がありました。そして今は光ケ丘にある専門学校勤務です。このようなことから今回の研修会には知り合いの方が１～２名はいらっしゃるだろうと想像していました。実際はかつての教え子・保護者を合わせると想像の数を超えていました。嬉しい気持ちとドキドキする気持ちを両方味わいました。よい再会でした。

自プレゼン紹介　（ちょっとだけ）



話の内容は想像してください。